

「都市魅力戦略部会」について

目的

世界的な創造都市に向けて グレート・リセット

1. 都市魅力創造にかかる府市事業の融合・統合
2. 世界の都市間競争に打ち勝つ都市魅力創造の基盤づくり
3. 『大大阪』にふさわしい都市魅力創造のシンボルプロジェクトの検討

実現に向けた考え方

■基本スタンス

- ①行政は活動の場を提供(行政の役割)
⇒主役は民間(NPO・府民・市民等)
- ②公金を入れる判断は府民・市民
⇒府民・市民の理解を得られるかどうか

■方向性

①社会を支え
経済を牽引する
新たな価値を創造する

cf)大阪文化振興新戦略
《4つの理念》
・社会を支える文化
・都市全体に開かれた文化
・攻める文化
・アーティストが目指す都市

都市

②まち全体を
活動のフィールド
として開く

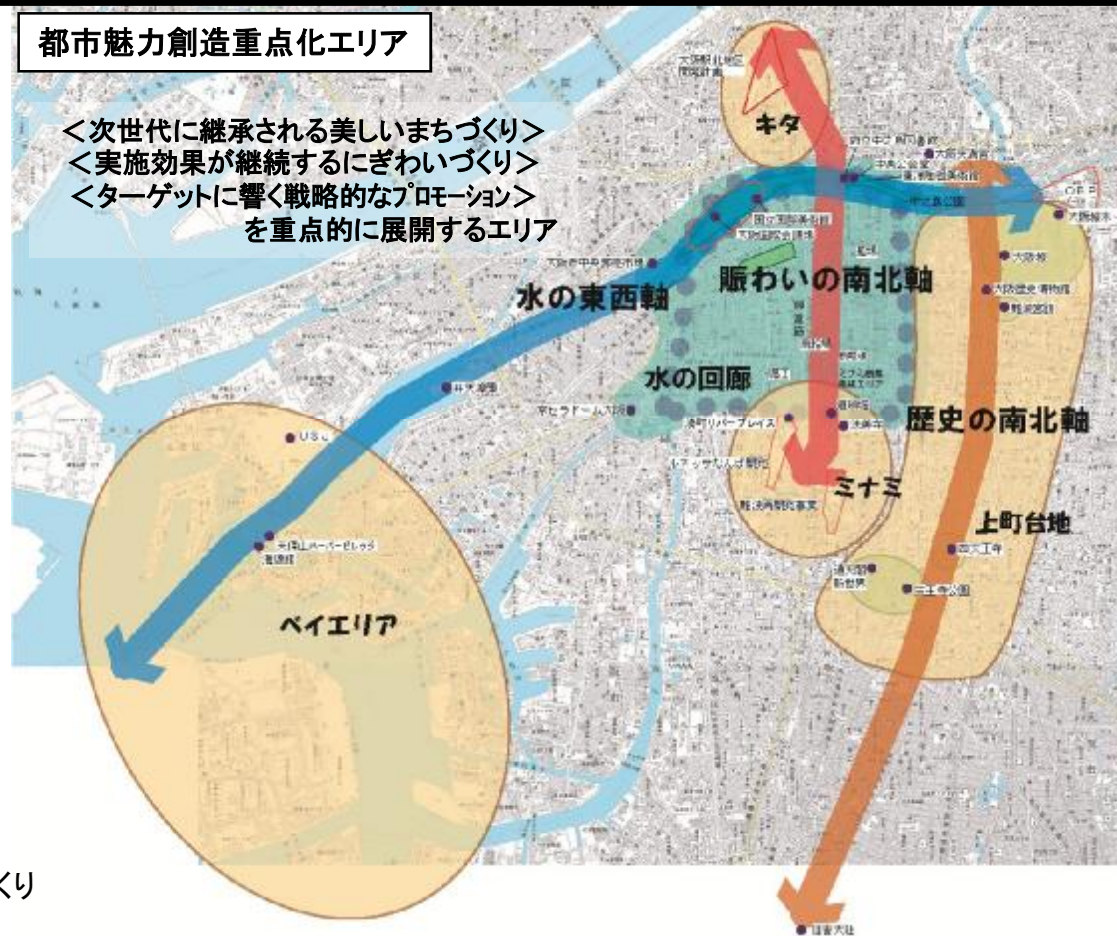
③創造的でチャレンジ
精神あふれる人・企業を
受容れる

■対象となる分野

・観光 ・文化 ・国際交流 ・スポーツ ・まちの魅力づくり

都市魅力創造重点化エリア

<次世代に継承される美しいまちづくり>
<実施効果が継続するにぎわいづくり>
<ターゲットに響く戦略的なプロモーション>
を重点的に展開するエリア



事業融合の考え方

- ①府市の類似事業を見直し、共同化・連携強化により効率化をはかるとともに相乗効果を高める
- ②府市の施策を、広域自治体と基礎自治体に仕分け

・広域自治体分 ⇒当面、府or市/府and市 (※最終的には新たな広域自治体。ただし、財源、人員等の再配置が必要)
・基礎自治体分 ⇒当面、市or区

部会での主な検討課題

【施策の再構築】

- 文化施策の白紙からの見直し、アーツカウンシルの制度化
- 観光戦略の一元化、国際交流における連携
(市内における拠点づくり、観光プロモーション・外交方針の一元化)
- 水と光のまちづくりの再重点化と推進体制強化
- 主要事業の連携・融合強化
(大阪マラソン、御堂筋kappo & 御堂筋オープンフェスタ、御堂筋イルミネーション & OSAKA光のルネサンスなど)
- エリアマネジメントと観光拠点化
(大阪城公園、中之島、御堂筋・船場、道頓堀・ミナミ、あべの・天王寺、ベイエリア、築港エリア、うめきた2期など)
- パークマネジメントの導入
(大阪城公園、中之島公園、天王寺動植物公園、万博公園など)

■シンボルプロジェクトの検討■

- 水と光のまちづくり(中之島、大阪城周辺、道頓堀)
- うめきた2期(集客魅力の創出)
- 御堂筋(みどり、恒常的にぎわいづくり)
- 世界的なミュージアムの創設(近代美術館構想の再検討)
- 統合型リゾート(IR)

【ビジョン・計画、審議会等の一本化・再構築】 ※H25年度までに順次検討

分野	府	市
全般	都市魅力創造戦略	
文化	大阪文化振興新戦略	市芸術文化振興プラン
	文化振興会議	
観光	観光戦略	市観光振興戦略
国際交流	府国際化戦略	市国際化推進基本指針
	府の外交方針	
スポーツ	府生涯スポーツ社会づくりプラン	市生涯スポーツ振興計画
	府スポーツ推進審議会(教委)	市スポーツ推進審議会
まちの魅力 づくり	水都大阪 水と光のまちづくり構想	
	大阪ミュージアム戦略プラン	市“みどり”ビジョン(策定中) 大阪城観光拠点化基本計画(策定中)

部会について

【部会構成】

- 特別顧問(部会長)
 - ・橋爪紳也氏(大阪府立大学教授、大阪市立大学特任教授)
- 特別参与(五十音順)
 - ・池末浩規氏(㈱パブリックパートナーズ代表取締役)
 - ・太下義之氏(三菱UFJリサーチ&コンサルティング芸術・文化政策センター長)
 - ・嘉名光市氏(大阪市立大学大学院准教授)
 - ・中川幾郎氏(帝塚山大学教授)
 - ・橋本裕之氏(盛岡大学教授)
- 行政関係者
 - ・府府民文化部長
 - ・市ゆとりとみどり振興局長
 - ・府市関係部局長等(議題に応じて参画)
- その他
 - ・議題に応じて、別途専門家を招聘

【検討スケジュール】

- H24年2月 部会立ち上げ
 - ・週1回程度開催
(全体会合は月1~2回程度、WGは週1回程度開催)
- H24年3月 たたき台作成
- H24年6月 全体の方向性取りまとめ
※まちづくり検討部会とも連携しながら議論
- シンボルプロジェクトや個別課題は、継続して検討